

① 3.11を扱うにあたって

・倫理的問い

「飢えた子供の前で文学は無力か？」（J・P サルトル）

「アウシュビッツ以後、詩を書くことは野蛮である」（テオドール・W・アドルノ）

・「政治と文学」論争

「こうした思想（引用者注…「自分の幸福のためにたたかいたい。そのたたかいのなかに民衆の幸福を求めたい」）を、荒は「エゴイズムを拡大した高次のヒューマニズム」とよんだ。そして、「政治と文学にたいする二次的見解」の打破を唱えた。もちろんこれは、「政治」と「文学」を折衷させるというのではなく、自己の内面の「文学」に徹することが、同時に社会全体の「政治」につながる状態を志向した表現だった。」

（小熊英二『民主』と『愛国』——戦後日本のナショナリズムと公共性』）

・誠実な絶句

「われわれの文学に終わりはない。われわれの芸術は終わらない。どんなに泣き叫んでも終われない。断じて。われわれの読み書き歌い踊り描き語る、この無限の営みは終わることができない。それ自体が、われわれの意味であり、人類が生き延びることそのものなのだから。」

（佐々木中『切りとれ、あの祈る手を——〈本〉と〈革命〉をめぐる五つの夜話』）

② 日本の近代の起源

・「悪い場所」

「なにかをしようとするればそのことごとくが「歴史から（の）逸脱」せざるをえない、わたしたちの営みがどうしようもなくはらんでしまう、「悪い場所」の性格と、それについての認識といったものなのではないか。／「前史」も「それ以後」も通じて偏在し、そうした時系列をなし崩しにしてしまうような、払拭しえない「起源」そのものなのではないか」（榎木野衣『日本・現代・美術』）

・〈悪い共同体〉

「先の敗戦に関する山本七平『空気の研究』をはじめとする数々の傑出した「失敗の研究」が明らかにしてきたように、行政官僚（先の大戦では軍官僚）の暴走を政治家が止められない理由として、「今さらやめられない」「空気に抗えない」といった言葉に象

徴される独特の〈悪い共同体〉の〈悪い心の習慣〉があるのである。問題は先の大戦から間違いなく引き継がれている。原発政策の背後にも〈悪い共同体〉の〈悪い心の習慣〉が存在する。」

(宮台真司・飯田哲也『原発社会からの離脱——自然エネルギーと共同体自治に向けて』)

・日本の現実

「日本に近代市民社会などというものはなく、したがってこのような場所には、近代意識を持った芸術家などという種類の人間は、ほとんど棲息不可能であるということを、ぼくらは物の見事に失念している。……近代的な意匠と前近代的な周囲の現実との間に生ずる炎症……「この」炎症現象が、恐らく唯一の書くに足る日本の現実である。」

(江藤淳『決定版 夏目漱石』)

③ 《Black Rain》 / 《金閣寺(炎上・倒壊)》

・原民喜的叙事性

「男であるのか、女であるのか、殆ど区別もつかない程、顔がくちやくちやくに腫れ上がって、随って眼は糸のように細まり、唇は思いきり爛れ、それに、痛々しい肢体を露出させ、虫の息で彼等は横わっているのであった。私達がその前を通って行くに随ってその奇怪な人々は細い優しい声で呼びかけた。「水を少し飲ませてください」とか、「助けてください」とか、殆どみんながみんな訴えごとを持っているのだった。」

「アカクヤケタダレタ ニンゲンノ死体ノキミヨウナリズム

スベテアッタコトカ アリエタコトナノカ

パット剥ギトツテシマッタ アトノセカイ」

(原民喜「夏の花」*強調部引用者)

・虚実の皮膜としての金閣寺

「身を起して、はるか谷間の金閣のほうを眺め下ろした。異様な音がそこからひびいて来た。……ここからは金閣の形は見えない。渦を巻いている煙と、天に沖している火が見えるだけである。木の間をおびただしい火の粉が飛び、金閣の空は金砂子を撒いたようである。私は膝を組んで永いことそれを眺めた。」

(三島由紀夫『金閣寺』)

・「黒い雨」と〈グローバル・ホーク〉

「午前十時ごろではなかったかと思う。雷鳴を轟かせる黒雲が市街の方から押し寄せて、降って来るのは万年筆ぐらいな太さの棒のような雨であった。真夏だというのに、ぞくぞくするほど寒かった。雨はすぐ止んだ。私は放心状態になっていたらしい。……黒い夕立は私の知覚をはぐらかすように、さっと来てさっと去った。だまされたような雨であった。」

(井伏鱒二『黒い雨』)

・《FAKE TIMES》或いは《BAD ROMANCE》

「無人の土地に立つ誰も見ぬ〈登頂〉旗。それは、かつてアメリカが達成したアポロ計画による月着陸の際、月面に立てられた星条旗の陰画を思わせる。……かれらはそこで、米国の技術でつくられた「人工の太陽」を「日の丸」に置き換え、さらに両者を放射能マークによっていまいちど結合する。」

(榎木野衣「しかし、それでも花の美しさが減ずるだろうか?」『美術手帖』2011.8)

・《Born This BAD Way》

[Oh-oh-oh-oh-oooh! Oh-oh-oooh-oh-oh!

Caught in a bad romance]

(Lady Gaga 「Bad Romance」)

[Ooo there ain` t no other way

Baby I was born this way

I`m on the right track baby

I was born this way]

(Lady Gaga 「Born This Way」)

2011.8.7 棚ガレリ 「BAD ROMANCE」展 artist talk 之際